

3 県央地区における脳卒中診療の現状と課題

鎌田 健一

三之町病院脳神経外科

The Status quo and Problems about Apoplexy in Kenou Area

Kenichi KAMADA

Department of Neurosurgery, Sannocho Hospital

まず県央とは、どの地域を示すのか、非常にわかりにくかったのですが、平成の大合併により、燕市（旧燕市、旧吉田町、旧分水町）・弥彦村、三条市（旧三条市、旧下田村、旧栄町）加茂市・田上町の3地域となり、それぞれ人口8.3万人・0.9万人、10.4万人、3.1万人・1.3万人、計24万人です。また見附市人口4.2万人いますが、この地域からはほとんど三条に患者さんが来ることがなく長岡市に向かうため、今回県央3地域人口24万人の現状について説明致します。

脳卒中発症率は新潟県より発表され、平成18年10月人口10万人あたり県央31.8人（新潟県31.2人）です。月ごとに発症率は異なると思いますが、この数値を元に、県央の人口（24万人）から、脳卒中発症者は年916人と予測されます。今までアンケートでは、H17年の脳卒中発症者は燕市の病院416人三之町病院473人の計889人ですが、その他にも一部、県央内他病院や県央外病院に入院していると思われま

す。またH18年脳疾患救急患者数は、県央731人ということで、救急ではなく直接病院受診患者も存在することなどから、県央脳卒中（急性期）患者さんは年間900～1000人と予測しました。

県央には脳卒中を専門とする病院は燕市に1病

院ありますから、当院は年間500人程度を目標にしております。

当院は脳神経外科医3名、神経内科医1名（外来のみ担当）、内科医1名が脳卒中患者さんを担当しております。H19年1月から6月までの6ヶ月間に、当院脳外科へ新入院した患者数は362人（月平均60人）で、そのうち脳卒中急性期入院患者数は脳外科243人（月平均40人）、内科31人の計274人の脳卒中患者さんが入院しておりました。

274人の脳卒中急性期の患者さんは、三条市から157人（57.3%）、加茂市・田上町から56人（20.4%）、燕市・弥彦村から35人（12.8%）、新潟市から21人（7.7%）、その他の地域から5人（1.8%）で、274人中県央の患者さんは248人でした。

H18年10月、人口10万人にあたり県央脳卒中発症率31.8人から6ヶ月間の発症率予測値を割り出すと、三条市予測値198人（実数値157人）で79.3%、加茂市田上町予測値84人（実数値56人）66.7%、燕市・弥彦村予測値176人（実数値35人）19.9%、合計で県央地域予測値458人（実数値248人）54.1%です。

又、脳卒中を取り扱う上では救急医療が大切に

Reprint requests to: Kenichi KAMADA
Sannocho Hospital
5-2-30 Honcho,
Sanjo 955-0071 Japan

別刷請求先：〒955-0071 三条市本町5-2-30
三之町病院 鎌田 健一

す。当院H19年1月～6月(6ヶ月間)で救急あるいは紹介入院が、三条市から157人中118人(75.2%)その他の地域から117人中100人(85.5%)で、合計274人中218人(79.6%)約8割の脳卒中急性期の患者さんが救急あるいは紹介入院(約2割が病院直接来院)のため、救急医療と脳卒中は切り離せない問題です。

そこで県央の救急搬送数は、H18年(H17年)三条市3343(3363)、加茂市田上町1354(1410)、燕市・弥彦村3112(2971)、合計7809(7744)です。当院の救急患者受入数は1400人です。当院常勤医10名中、救急に対応できる医師は6人くらいで、医師一人で年間200台の救急車(その他は大学からの当直非常勤医師)を担当しなければなりません。

当院の現状は、脳卒中急性期の患者さんを年間500人受け入れ、脳外科医師一人あたり150人の脳卒中急性期(救急車200台)を担当し、県央の脳卒中治療に対応しています。

今後の課題は、県央地域の脳卒中(救急医療)に引き続き十分対応できていけるかどうか、ということです。この地域は、医師数が人口10万人あたり140人(全国200人~/、新潟県170人~/)で非常に足りず、また看護師数も最も少ない地域であります。この現状では、医師一人一人の負担が大きく医師・看護師不足の「解消」なしには、課題を達成することも大変難しいと思います。

キーワード：県央、脳卒中、救急医療

4 長岡地区における脳卒中診療の現状と課題

竹内 茂和

長岡中央総合病院脳神経外科

Present Systems and Future Problems of Stroke Care in Nagaoka District

Shigekazu TAKEUCHI

Department of Neurosurgery, Nagaoka Chuo General Hospital

救急体制

長岡地区の脳卒中診療の現状を述べる前に、長

岡赤十字病院(日赤)、立川総合病院(立川)、長岡中央総合病院(中央)の3病院による1年間の完全輪番制度がある。土曜日